

【表2】

平成28年 死亡災害発生状況 (確定値)

岩手労働局

| 番号 | 署別 | 業種 | 発生日 | 性別 | 年齢 (経験期間) | 事故の型 | 起因物 | 災害発生の概要 | |
|----|-----|----------------------------------|-----|----|--------------|--------------------------|-----------------|-----------------------|---|
| 1 | 二戸 | 商業 (燃料小売業) | 1月 | 日 | 男 | 30歳代 (10年以上 20年未満) | 破裂 | トラック | ダンプトラックにタイヤを取り付ける作業中、タイヤのチューブが破裂、サイドリングが吹き飛び、被災者の頭部に激突した。 |
| 2 | 一関 | 製造業 (その他の製造業 -その他) | 2月 | 水 | 男 | 30歳代 (1年未満) | はさまれ、 巻き込まれ | コンベヤー | チップふるい機の始業前点検中、ベルトコンベヤーのテールローラー部に巻き込まれた。 |
| 3 | 大船渡 | 建設業 (木造家屋建築工事業) | 2月 | 水 | 男 | 70歳代 (50年以上 60年未満) | 墜落、 転落 | 作業床、 歩み板 | 資材を覆うブルーシートをロープで縛る作業をしていたところ、よろけて敷地端部の土止擁壁から足を踏み外し、約1.8m下の道路に墜落、アスファルト路面に頭を打った。搬送先の病院で2週間後に死亡した。 |
| 4 | 二戸 | 農林業 (木材伐出業) | 3月 | 水 | 男 | 60歳代 (30年以上 40年未満) | 激突され | 伐木等機械 | 民有林の皆伐作業現場で、原木(長さ約14m、末口直径約15cm)を移動させるため、グラブ機で原木を掴んで旋回させたところ、歩いていた被災者の頭部に原木の末口が激突した。 |
| 5 | 大船渡 | 建設業 (橋梁建設工事業) | 3月 | 水 | 男 | 40歳代 (20年以上 30年未満) | その他 | 起因物なし | 現場事務所事務作業をしていたところ倒れ、搬送先の病院で死亡が確認された。長時間の時間外労働により、過重負荷が高かった。 |
| 6 | 釜石 | 製造業 (その他の 金属製品製造業) | 3月 | 金 | 男 | 50歳代 (30年以上 40年未満) | はさまれ、 巻き込まれ | 掘削用機械 | 作業中のドラグ・ショベルの脇で鉄柵を番線で結束する作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルが旋回し、ドラグショベルの上部旋回体と鉄柵の間に挟まれた。 |
| 7 | 二戸 | 農林業 (農業) | 4月 | 木 | 男 | 40歳代 (1年以上 10年未満) | 飛来、 落下 | 立木等 | 事業場の敷地内において、木の伐採作業中、地上4mの高さに切れ目を入れた状態で伐倒方向を選定していたところ、伐倒木(長さ16m、胸高直径29cm)が倒れてきて、被災者に激突した。 |
| 8 | 花巻 | その他の事業 (その他) | 5月 | 月 | 男 | 50歳代 (1年以上 10年未満) | 交通事故 (道路) | 乗用車、 バス、バイク | 業務により車を運転中、被災者の運転する車が対向車線に進入し、対向車の大型トラックと正面衝突した。 |
| 9 | 二戸 | 建設業 (トンネル建設工事業) | 5月 | 金 | 男 | 60歳代 (10年以上 20年未満) | はさまれ、 巻き込まれ | 整地・運搬・ 積み込み用 機械 | トンネル内において、被災者が発破後の切羽を点検した後、切り羽から坑口に向かって歩いていたところ、切り羽から坑口方向に後進してきたホイールローダに轢かれた。 |
| 10 | 釜石 | 農林業 (木材伐出業) | 5月 | 金 | 男 | 60歳代 (30年以上 40年未満) | 激突され | 立木等 | 樹高20m、直径26cmの松の木をチェーンソーで伐倒したところ、伐倒した木が、既に倒れていた木の上で跳ね上がり、被災者の腹部に激突した。 |
| 11 | 花巻 | 建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業) | 6月 | 水 | 男 | 30歳代 (10年以上 20年未満) | 墜落、 転落 | 建築物、 構築物 | 工場の新築工事現場にて、建屋3階の天井クレーンを設置する作業中、高さ5.4mのH鋼上から床面まで墜落した。 |
| 12 | 盛岡 | 運輸交通業 (一般貨物自動車運送業) | 6月 | 金 | 男 | 50歳代 (30年以上 40年未満) | 墜落、 転落 | フォークリフト | 大型バスの窓枠を修繕するため、フォークリフトでパレットを高さ2m20cmまで上げ、その上に乗って作業を行った。作業終了後、他の労働者に命じて、フォークリフトを後退させたところ、パレットから墜落した。 |
| 13 | 二戸 | 建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業) | 6月 | 月 | 男 | 60歳代 (1年以上 10年未満) | 墜落、 転落 | はしご等 | 2階建て建築物の解体工事において、脚立に上がり1階天井の筋交いを取り外し脚立をおりる際、脚立から転落した。 |
| 14 | 二戸 | 建設業 (機械器具設置工事業) | 7月 | 金 | 男 | 20歳代 (1年以上 10年未満) | 激突 | ボイラー | ボイラーの定期点検中、蒸気ドラム(直径1.6m、長さ7.2m)内の状況を確認するため、マンホール(直径38cm)を開放したところ、ドラム内部に吸い込まれ、ドラム内壁に激突した。 |
| 15 | 花巻 | 商業 (自動車小売業) | 8月 | 日 | 男 | 20歳代 (1年以上 10年未満) | 高温・低温の 物との接触 | 高温・低温環境 | 屋外の展示場における洗車・清掃等の作業中に頭痛を発症し、帰宅後、就寝したが、死亡した状態で翌朝発見され、死因は熱中症とされたもの。 |
| 16 | 花巻 | 農林業 (農業) | 9月 | 金 | 男 | 70歳代 (10年以上 20年未満) | 墜落、 転落 | はしご等 | 個人宅の庭木の剪定作業中、三脚脚立(長さ298cm)を枝に立てかけ作業を行っていたところ、枝が折れて玄関入り口のコンクリートに転落した。 |
| 17 | 宮古 | 建設業 (トンネル建設工事業) | 10月 | 木 | 男 | 30歳代 (20年以上 30年未満) | 崩壊、 倒壊 | 荷姿の物 | 隣接するずい道を閉塞するため、坑口に木製型枠を組み立て、大型土嚢(5段)を置き、大型土嚢上でずい道内部にコンクリートを流し込む作業をしていたところ、土嚢が崩壊し、墜落、崩れた土嚢の下敷きとなった。 |
| 18 | 宮古 | 農林業 (木材伐出業) | 11月 | 火 | 男 | 70歳代 (10年未 満) | 激突され | 立木等 | 前日に伐倒した立木が「かかり木」になっていたことを忘れ、伐倒作業を行ったところ、「かかり木」に激突された。 平成29年2月、療養中に死亡した。 |
| 19 | 花巻 | 製造業 (鋳物業) | 11月 | 水 | 男 | 40歳代 (1年以上 10年未満) | 崩壊、 倒壊 | クレーン | 金棒(3.0m×3.8m、重さ:5~7t)を天井クレーンを使用して台車上に積み込む作業において、金棒を4段(2.46m)積み上げたところで崩れ、当該金棒と脇に積んでいた小型の金棒との間に挟まれた。 |

【表3】

平成28年死亡災害発生状況（事故の型別等）（確定値）

| | | | | | | | | |
|-------|------------------|---------------------|------------------|------------------|---------------------|-----------------------|-------------------|------------------|
| 業種別 | 製造業 3人 (2人) | 鉱業 0人 (0人) | 建設業 7人 (8人) | 運輸業 1人 (3人) | 農林業 5人 (3人) | 商業 2人 (1人) | 左記以外 1人 (4人) | 19人 (前年同期21人) |
| 監督署別 | 盛岡 1人 (5人) | 宮古 2人 (2人) | 釜石 2人 (2人) | 花巻 5人 (5人) | 一関 1人 (3人) | 大船渡 2人 (1人) | 二戸 6人 (3人) | |
| 事故の型別 | 墜落・転落 5人 (3人) | 転倒 0人 (1人) | 飛来・落下 1人 (1人) | 崩壊・倒壊 2人 (3人) | 激突され 3人 (1人) | はさまれ・巻き込まれ 3人 (3人) | 切れ・こすれ 0人 (0人) | |
| | 破裂 1人 (0人) | 高温の物との接触 1人 (1人) | 激突 1人 (0人) | 感電 0人 (0人) | 有害物等との接触 0人 (2人) | 交通事故 1人 (3人) | その他 1人 (3人) | |

注：（ ）内は前年同期